

46 文化・生涯学習・スポーツの振興

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』の分野別計画である「みどりの風吹くまちにあ・そ・ぶ～練馬区学びと文化の推進プラン～」を、区民意見反映制度を踏まえ、平成27年6月に策定した。

計画の初年度となる27年度は、練馬Enカレッジ地域講座の開催、文化振興協会の体制および事業の充実などの取組を進めた。



[[みどりの風吹くまちにあ・そ・ぶ～練馬区学びと文化の推進プラン～]]

●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、平成28年10月に開催する新能を企画し準備している。

●練馬区文化振興協会

区民の自主的な文化活動の促進を図り、豊かな区民文化の創造に寄与することを目的として、昭和57年9月に財団法人として設立された。平成24年4月には、公益財団法人へ移行している。

28年度からは、理事長にヴァイオリニストの大谷康子氏を迎えた。また、石神井公園ふるさと文化館、練馬区立美術館に加え、練馬文化センター、大泉学園ホールの指定管理者となり、区の文化振興を担う団体として魅力ある事業展開を目指している。

1 区民文化の向上および振興のための事業の実施

- (1) 舞台鑑賞事業 (24事業)
- (2) 地域活動事業 (43事業)
 - ① アトリウムミニステージ
 - ② まちなかコンサート
 - ③ 演奏家の派遣・あっせん
 - ④ 小学校での狂言ワークショップ
- (3) 練馬文化センター友の会事業
会員数 1,247人 (27年度末現在)

2 区民の自主的な文化活動の促進に関する事業の実施

- (1) 区民参加・学習型事業 (8事業)

- ① 小・中学生参加型ミュージカル
- ② 青少年参加型「ねりま若者文化祭ライブパフォーマンス2016」
- ③ 区民参加型「ゴスペルワークショップ」ほか

(2) 人材育成活用事業

- ① 第30回新人演奏会 (金管・ピアノ部門)
- ② 練馬区演奏家協会コンサート
- ③ ゆめりあワンコイン・コンサート(4事業)

(3) 連携支援事業

- ① 文化活動支援補助
- ② 練馬交響楽団の活動支援
- ③ 舞台芸術支援 (6事業)
- ④ 区内三大学連携 (4事業)

(4) 文化芸術情報発信事業

●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

〔練馬文化センターの利用状況〕

平成27年度

	大ホール	小ホール	ギャラリー
入場者数 (人)	279,329	129,646	7,836
利用件数 (件)	718	728	147
	リハーサル室	集会室	計
入場者数 (人)	53,984	16,544	487,339
利用件数 (件)	2,343	1,345	5,281

注：「利用件数」は、午前・午後・夜間の各区分を1件とする。
ただし、ギャラリーについては、1日を1件とする。

●大泉学園ホール (大泉学園ゆめりあホール)

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル〔ゆめりあ1〕内に、平成14年2月に開館した。

〔大泉学園ホールの利用状況〕

平成27年度

	ホール	ギャラリー	計
入場者数 (人)	48,918	10,595	59,513
利用件数 (件)	924	165	1,089

注：「利用件数」は、午前・午後・夜間の各区分を1件とする。
ただし、ギャラリーについては、1日を1件とする。

●美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

1 展示事業

年間4～5回の企画展や、美術館の所蔵作品によるコレクション展などの展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

〔企画展〕		平成27年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
開館30周年記念 没後100年 小林清親展	4/5～5/17 (37日間)	14,785
開館30周年記念 舟越保武彫刻展	7/12～9/6 (49日間)	22,948
開館30周年記念 アルフレッド・シスレー展	9/20～11/15 (49日間)	41,849
浜田浄の軌跡 重ねる、削る 絵画	11/21～2/7 (62日間)	3,697
国芳イズム 歌川国芳とその系脈	2/19～4/10 (45日間)	15,532

2 教育普及事業

展覧会関連講座を始め、各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象に学芸員による作品解説を行うティーチャーズデイの実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。27年度末の全所蔵数は6,961点である。

4 美術の森緑地

27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、平成22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」（区指定文化財）を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に区立石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター107名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。27年度は、分室を含め延べ219,935人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示などを行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか幅広い視野からテーマを設定した特別展を27年度は4回開催した。

〔特別展〕		平成27年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
「蟬類博物館－昆虫黄金期を築いた天才・加藤正世博士の世界－」	10/1～11/29 (52日間)	4,963
「なぞなぞ?ことばあそび!! －江戸の判じ絵と練馬の地口絵－」	1/30～3/21 (45日間)	5,963
【分室】 「志と仲間たちと－文士たちの石神井、美術家たちの練馬」	7/4～9/27 (74日間)	7,743
【分室】 「書家・松井如流－ゆるぎない信念とともに」	10/3～12/23 (70日間)	7,041

(注) 分室は無料展示

(3) 企画展

収蔵資料からテーマを決めた企画展を27年度は4回開催した。

展覧会名	会期	観覧者数(人)
収蔵品企画展「ねりまと鉄道―武蔵野鉄道開通100年」	4/25～6/7 38日間	7,087
収蔵品企画展「戦時下のくらし」	6/27～8/16 44日間	6,112
【分室】新収蔵品展「檀さんとコミさん」	4/11～6/28 68日間	7,258
【分室】コレクション展「ことばってたのしいな―木島始の詩と絵本」	1/9～3/27 68日間	8,109

(注) いずれも無料展示

(4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業、親子でのふれあいを楽しめる催しなどを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、様々なイベントを開催している。

3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

●学習情報の提供・相談活動の推進

区民の生涯学習活動を支援するため、毎年「学習・文化ガイドブック」および「スポーツガイドブック」を発行している。

●「練馬En(エン)カレッジ」

各課で実施している人材育成事業を分野別専門講座として東ね、カリキュラムや募集窓口等を総合的に案内している。

分野別専門講座の受講者等が利用できる「共通講座」、「フォローアップ講座」を実施している。その他、地域活動を始めるきっかけづくりとして練馬区の歴史・自然・文化や地域課題など区の概要を学ぶ「地域講座」を実施している。また、特別講座として、「学ぶことの楽しさ・大切さ」等をテーマにした講演会を実施している。



〔27年度版「Enカレッジ講座ラインアップ」〕
各講座の内容や実施状況等を紹介している。

〔練馬Enカレッジ講座実施状況〕

27年度

講座名	実施状況
共通講座	3回 70人受講
フォローアップ講座	3回 28人受講
地域講座	全17回 延べ528人受講
特別講座	1回 278人受講

※上記のほかにも分野別専門講座(20講座)を各所管課で実施

●生涯学習団体の育成

生涯学習団体は、芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等、様々な分野で自主的に学習・スポーツ活動を行っている。平成27年度末現在、1,675団体が、区に届出されている。

区では、団体の学習・スポーツ活動をより広く情報提供するため、届出名簿一覧表を閲覧できるようにしている。

●学習の機会の充実

1 人権学習

現代社会の様々な人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

・地域ふれあい講座(5回実施、66人が参加)

2 武蔵大学特別履修生

武蔵大学に4月から翌年3月までの1年間、大学生と一緒に授業を履修する特別履修生を派遣している。

修了後、ボランティア活動を行う意思があることを条件に、履修料の一部を区と武蔵大学で負担してい

る。27年度は、30人の履修生を派遣した。

●区民発出前講座

様々な趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。平成13年6月に講座登録を開始し、27年度末現在で、91講座が登録されている。

●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。また、児童の健全育成を目的に区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。

1 校庭開放

平成27年度末現在、区立全小学校（65校）の校庭を開放している。27年度は、全校で延べ1,155,330人の利用（うち個人利用716,912人、団体利用438,418人）があった。

2 学校図書館開放

地域住民に対して、区立小学校図書館（室）を開放し、図書の貸出しと読書・学習の場を提供している。

27年度末現在、42校を開放し、蔵書数は268,460冊である。また、27年度は延べ197,618人の利用があり、52,808冊を貸し出した。

また、13年度からは区立図書館資料の検索ができる端末を設置した。27年度時点では、5校で予約・貸出しを実施している。27年度は3,325冊の貸出しがあった。

3 教室開放

区立小学校の余裕教室を地域住民の身近な学習・文化・レクリエーションの場として開放している。

27年度末現在、19校で45施設を開放している。27年度は2,798件、延べ58,913人の利用があった。

4 学校体育施設の開放

区民がスポーツ活動を身近に行える場として、区立学校体育施設（体育館・プール）の開放を行っている。

〔利用状況〕 平成27年度

	実施校数	利用者数(延べ)
学校体育館開放	小中学校38校	228,976人
プール開放	小学校9校(※夏休み期間)	4,462人

5 学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、中学校18校の第二屋内運動場（格技室）や開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、平成24年4月に名称を「生涯学習センター」と変更した。

現在は、生涯学習の中核を担う施設として、学習や文化芸術活動を支援している。また、他施設、他施策との連携による幅広い事業展開や文化芸術・生涯学習の総合的な情報の収集・提供機能の充実を図り、人づくり・地域づくりを総合的に推進している。

〔生涯学習センターの事業実施状況〕 平成27年度

事業名	実施状況
学びふれあい講座	11講座 延べ1,957人受講
寿大学 (65歳以上対象)	2回 延べ2,652人受講
寿大学通信講座 (60歳以上対象)	書道・俳句の2科目 延べ6,846人受講 (スクーリング) 講師による直接指導 5回延べ153人受講 (書き初め展) 1回 書道221点・俳句153句出品
児童合唱団	毎週土曜日練習 演奏会等4回
視聴覚事業	名画鑑賞会 子ども映画会 延べ6,360人入場
サークル文化祭	1回 延べ2,849人入場
区民文化祭	1回 延べ11,252人参加
芸術鑑賞会	6回 延べ1,760人入場
公開講座	7講座(大学4校、高校1校) 延べ768人受講
サポーターズ講座	料理講座9講座 192人受講 一般講座8講座 1,161人受講
座・サポーターズ	・「練馬寄席」12公演 988人入場 ・「お笑いライブ」6公演 237人入場 ・「音楽塾」10公演 350人入場

〔生涯学習センターの利用状況〕 平成27年度

	ホール	第一会議室	第二会議室	第一教室
利用者数(人)	74,741	11,604	10,960	22,279
利用件数(件)	495	617	536	791
	第二教室	第三教室	和室(大)	和室(中)
利用者数(人)	10,287	14,169	14,420	11,482
利用件数(件)	622	690	670	524
	和室(小)	美術工芸室	視聴覚室	調理実習室
利用者数(人)	13,083	6,713	18,467	3,774
利用件数(件)	528	487	807	262
	陶芸室	保育室	合計	
利用者数(人)	1,337	6,923	220,239	
利用件数(件)	385	353	7767	

●生涯学習センター分館

区民が地域の様々な課題等について学び、その成果を地域で活用できるよう支援する拠点として「練馬En(エン)カレッジ」事業(詳細は184ページ参照)を行うほか、各種事業等を実施している。

1 ジュニア・オーケストラ

小学4年生から18歳までの少年少女を団員として、年40回程度練習を行い、学校演奏会と定期演奏会をそれぞれ年1回開催している。平成28年4月現在の団員は60人である。

2 弦楽体験教室

小学4年生から中学生で弦楽器の未経験者を対象に、6月から9月にかけて、全9回で1コースの体験教室を開催した。27年度は16人が参加した。

3 区民囲碁大会、区民将棋大会

それぞれ年1回開催し、初心者から有段者まで老若男女を問わず楽しく腕を競っている。27年度の囲碁大会は100人、将棋大会は87人が参加した。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、施設の貸出しを行っている。

〔生涯学習センター分館の利用状況〕 平成27年度

	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4
利用者数(人)	2,456	2,194	4,112	3,976
利用件数(件)	264	176	440	370
	講座室5	講座室6	講座室7	講座室8
利用者数(人)	6,387	1,264	1,111	1,222
利用件数(件)	399	135	159	115
	講座室9	和室	料理室	工作室
利用者数(人)	1,476	2,431	569	2,762
利用件数(件)	125	231	51	324
	美術室	音楽室1	音楽室2	陶芸室
利用者数(人)	2,831	10,409	5,488	2,822
利用件数(件)	364	746	567	548
	保育室	合計	学習室	
利用者数(人)	1,062	52,572	4,842	
利用件数(件)	127	5,141	-	

(2) 読書活動を支援する

〔関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会〕

●図書館

区立図書館は、地域の情報拠点として、図書館資料の貸出しを始め、各種サービスを実施している。資料の収集・貸出し等を充実するとともに、生活や仕事の上で必要な資料や情報を提供するなどの支援も行っている。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、平成25年6月に策定した「練馬区立図書館ビジョン」により、図書館運営の基本理念を「情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ 愛される図書館」とし、サービスの充実を図っている。

1 施設の充実

(1) 図書館(12館)

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稲荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

(2) 分室(1分室)

南大泉図書館分室(こどもと本のひろば)
乳幼児から小学校低学年までの子どもたちとその保護者を対象としている。

(3) 図書館資料受取窓口(4か所)

高野台、豊玉、石神井公園駅、大泉学園駅
予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる(高野台を除く)。28年4月から、受取窓口の開館時間を拡大した。

2 利用の促進

東京都公立図書館調査(26年度実績)によると、図書館資料の個人貸出資料点数および個人予約資料点数は、ともに23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。27年度は、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しを行った。

また、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型のイベントなども開催している。27年度は、参加者がおすすめの一冊を持ち寄って本の魅力を紹介しあう「ビブリオバトル(書評合戦)」や、閉館日の図書館で館内資料検索機などを駆使して謎を解いて脱出するゲームなどを実施した。

3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身に付けることができるよう「練馬区子ども読書活動推進計画（第三次）」を27年9月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整備するため、様々な取組を進めている。

(1) 事業

- ・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会
- ・ブックスタート事業（赤ちゃんと保護者が絵本を介してふれあえるよう、絵本を手渡す）（27年度4,724セット配付）
- ・「本の探検ラリー」（クイズを解きながら様々な本と出会い、親しむことができる参加型イベント）

(2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

- ・ボランティアへの講習会の実施
- ・ボランティア団体との協働
- ・地域文庫の活動への助成（27年度16団体762冊）

〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 平成27年度

催し物名	実施数	参加者数
よみきかせ・おはなし会	901回	17,890人
おたのしみ会	37回	1,982人
子ども読書の日・こども読書週間記念行事	39回	1,470人
本の探検ラリー（小中学校開催）	延べ51校	5,716人

4 学校支援

小中学校への団体貸出、ブックトーク（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や図書館見学・職場体験の受入れ、学校教職員向けの講習会などを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

また、指定管理による運営を行う館では学校支援モデル事業として、以下のような支援を行っている。なお、27年度は区内の小中学校60校に対して実施した。

- ・学校図書館に学校図書館支援員を配置
- ・各校の学校図書館運営計画に基づく学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

5 障害のある方へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送

で図書館資料を貸出しするサービスを行っている。

その他、乳幼児や障害児向けの布の絵本の製作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

平成27年度

項目	点数等	
製作録音資料数	2,676点	
対面朗読実施回数	1,058回	
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出点数	2,530点	
布の絵本製作数	37点	
催し物名	実施数	参加者数
音訳者等養成講習会	12回	延べ213人
布の絵本製作講習会	6回	延べ112人

6 図書館情報システム

貸出し・返却・予約などの業務を情報システムで行い、年間660万点を超える資料貸出しに対応している。また、資料検索機やパソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の取置き通知サービス等を実施している。

項目	点数等
予約点数（個人）	2,162,152点
うちインターネットからの予約点数（個人）	1,658,327点
予約点数に占めるインターネット予約割合	76.7%

〔図書館の所蔵資料〕

平成27年度末現在

種別	図書資料	雑誌	視聴覚資料	視覚障害者用資料
館名	(冊)	(冊)	(組)	(点)
光が丘	319,741	14,658	19,973	6,460
練馬	147,225	4,678	10,919	1,172
石神井	205,306	4,018	7,654	—
平和台	121,479	4,809	7,189	—
大泉	218,768	3,671	8,252	—
関町	109,019	3,778	6,475	—
貫井	130,263	4,374	8,643	—
稲荷山	85,648	3,354	4,845	—
小竹	86,474	2,474	7,723	—
南大泉	71,321	2,036	5,011	—
南大泉分室	23,642	211	0	—
春日町	114,230	2,973	9,513	—
南田中	104,728	2,501	5,605	—
合計	1,737,844	53,535	101,802	7,632

〔図書館の利用状況等〕

平成27年度

種別	個人利用 登録者数	団体利用 登録数	来館者数	貸出数			貸出予約数		
				個人貸出点数	団体貸出点数	協力貸出点数	個人貸出予約数	団体貸出予約数	協力貸出予約数
館名	(人)	(団体)	(人)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)
光が丘	43,318	246	738,551	1,209,535	15,504	5,272	313,709	1,435	3,046
練馬	30,722	131	562,050	656,528	10,457	713	218,266	3,024	711
石神井	27,122	105	360,852	594,129	12,597	966	141,005	3,170	968
平和台	15,213	174	80,269	230,147	8,181	117	145,053	4,798	576
大泉	21,748	160	345,640	563,468	20,794	768	143,757	15,397	736
関町	15,023	158	253,421	466,987	7,319	425	162,183	5,264	409
貫井	23,054	75	758,502	596,288	8,129	705	200,370	3,859	704
稲荷山	6,958	88	124,331	200,538	12,329	359	47,620	2,502	438
小竹	12,823	83	258,345	410,926	8,644	324	146,196	129	335
南大泉	11,625	85	248,090	434,791	7,946	218	123,281	5,132	237
南大泉分室	2,028	12	62,559	107,023	792	15	17,834	15	7
春日町	13,524	94	417,636	534,960	8,624	366	153,077	3,344	434
南田中	7,061	109	261,060	356,580	13,259	285	86,237	2,025	311
全館合計	230,219	1,520	4,471,306	6,361,900	134,575	10,533	1,898,588	50,094	8,912
高野台窓口	22	—	—	30,041	—	—	29,587	—	—
豊玉窓口	48	—	—	33,872	—	—	33,089	—	—
石神井公園 駅受取窓口	171	—	—	118,565	—	—	117,242	—	—
大泉学園駅 受取窓口	530	—	—	83,316	—	—	83,646	—	—
合計	230,990	1,520	4,471,306	6,627,694	134,575	10,533	2,162,152	50,094	8,912

(3) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の多くの文化財がある。

文化財を守るために、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された練馬区文化財保護条例に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。平成27年度は新規の登録文化財は5件であった。

(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の208～209ページを参照。)



[27年度新規登録された阿弥陀堂の半鐘]

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡等）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅のおそれがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

平成27年度は、遺跡地で工事を行う届出が68件、通知が7件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等が68件、発掘調査が2件あった。

出土品の一部を生涯学習センター分館などに展示している。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。27年度は10月31日～11月8日までの9日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

- ・「江古田の富士塚」解説会 10月28日 30人参加
- ・「下練馬の富士塚」解説会 11月4日 42人参加
- ・尾崎遺跡出土品解説会 11月1日 17人参加

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

- ・「石神井城跡発掘パネル展」10月31日～11月8日
- ・東京9区合同開催行事「来て・見て・発見！はじめよう文化財古民家めぐり」10月7日～29日
- ・古民家説明会
11月15日（杉並区との合同）15人参加
10月25日 52人参加

3 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演会を開催し、祭囃子連が4団体出演した（第16回）。

会場：生涯学習センター 420人参加

4 刊行物の発行

27年度は、つぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年3回）
- ・練馬区の文化財 指定文化財編
- ・埋蔵文化財調査報告30

5 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。27年度は、新規1件、修繕4件を実施し、総数176件となっている。また、道標は29か所設置している。

6 文化財防火デー

昭和24年1月、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努め、27年度は、浅間神社（北町）、練馬区立美術館、旧内田家住宅の3か所で、一斉放水等の訓練を行い、735人の参加があった。

●文化財保護推進員

区内の文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

区では、文化財の所有者を始め多くの区民の協力の下に、文化財の保護・保存を行っている。

●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約500点を展示している。平成27年度は延べ39人が来室した。

(4) スポーツ活動を支援する

●スポーツの機会の充実

区は、活気あふれるまち“ねりま”を目指すことを基本理念とし、平成26年3月に「練馬区スポーツ推進ビジョン」を策定した。

本ビジョンに基づき、区民体育大会、初心者スポーツ教室などを実施している。また、本ビジョンでは、新たに「スポーツが持つ力の地域への活用」を設定し、地域を活性化させるイベントの実施とスポーツを通じた地域コミュニティを活性化させる取組を進めることを加えた。

〔スポーツ事業〕 平成27年度

区 分		内容および参加人数	
各 種 大 会	区民体育大会	37種目 総合開会式	22,585人 675人
	都民体育大会	32種目	556人
	都民生涯スポーツ大会	17種目	194人
	城北地区競技会	6種目	312人
	少年野球大会	64チーム	1,500人
	女性スポーツ大会	3種目	1,312人
	都民スポレクふれあい大会	3種目	59人
	城西ブロックスポーツ交流大会	5種目	210人
	東京都魚釣選手権大会	フナ釣、ハゼ釣	16人
	野 外 活 動	区民歩行会	6月7日実施 大洗、なかみなと
わんぱくキャンプ		10月24日、25日実施 7月24日～26日実施 八島湿原、別所温泉 武石巣栗キャンプ場	126人 70人
初心者スポーツ教室	30種目 73教室	5,844人	
夏休み水泳教室	3校	198人	
少年少女スポーツふれあいひろば	2月20日実施	353人	
体育の日記念行事	10月12日実施 総合体育館ほか 7会場	26,789人	
ねりま光が丘ロードレース	11月8日実施	2,482人	

●地域スポーツ指導者の育成

区では、スポーツ実施率をさらに高めるため多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者の育成と確保に努めている。

1 スポーツ推進委員

地域スポーツ推進のために、事業実施に係る連絡調整や実技指導、その他スポーツに関する指導および助言を行うことを目的に、28年4月1日現在、29人のスポーツ推進委員を委嘱している。

主な活動として、年2回の区民歩行会や小学生を対象としたわんぱくキャンプなど、地域に向けて、様々なイベントを企画・実施している。また、近年では、区内スポーツ関係団体が連携・協力して実施するスポーツイベント「ねりすぽフェスティバル」の実施に係る連絡調整および運営や障害者スポーツの普及・紹介も行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツ指導者は、専門知識や経験に基づく高い指導能力が求められる。

区では、スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。27年度末現在、681名が認定を受けている。

●総合型地域スポーツクラブの育成

平成24年3月に策定された、国の「スポーツ基本計画」では、「総合型地域スポーツクラブ（区の略称SSC）」の育成を重点施策としている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が自主的に会費で運営する
- ・クラブの活動拠点となる施設を持っている
- ・複数種目の活動が楽しめる
- ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる
- ・クラブが主催するスポーツ事業が地域に提供される

などを特徴とした地域スポーツクラブづくりを目指している。

現在、7か所の区立体育館を活動拠点とし、会員制による自立した運営を行っている。

〔総合型地域スポーツクラブ (SSC)〕 平成28年3月31日現在

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 人
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年 8月24日	20,533
NPO法人スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	平成14年 9月 5日	7,221
NPO法人スポーツクラブホワイエ 上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	16,521
NPO法人総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	平成14年10月 4日	26,984
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年 9月10日	9,445
NPO法人コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	平成14年 8月13日	56,883
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブブラッツ (SSC豊玉・中村)	平成21年 2月21日	24,286

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。平成27年度は、大泉さくら運動公園の人工芝化工事を行った。

27年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場6面、少年野球場6面、庭球場30面、多目的運動場3面、陸上競技場1面、ゲートボール場2面、多目的広場3か所、スポーツ広場1か所である。

〔屋外施設の利用状況〕

平成27年度

区分	施設名	面	利用人数 人
庭球場	豊玉中公園庭球場	3	20,843
	高野台運動場 (庭球場)	4	17,829
	びくに公園庭球場	2	5,188
	土支田庭球場	7	41,844
	夏の雲公園庭球場	4	35,006
	大泉学園町希望が丘公園運動場 (庭球場)	3	14,930
	石神井松の風文化公園 (庭球場)	7	45,218
成人 野球場	学田公園野球場	1	11,821
	高野台運動場 (野球場)	1	9,312
	北大泉野球場	2	18,844
	東台野球場	2	17,076
少年 野球場	荒川河川敷野球場 (硬式少年野 球)	3	30,911
	練馬総合運動場 (野球場)	2	28,715
運動場等 (サッカー・ ラグビー・ グラウンド ゴルフ等)	練馬総合運動場		31,429
	大泉さくら運動公園多目的運動場		18,300
	大泉学園町希望が丘公園運動場 (多目 的運動広場)		10,901
	石神井松の風文化公園 (多目的広場)		25,921
	びくに公園多目的広場		7,474
	総合体育館東側多目的広場		887

注：①人数について、練馬総合運動場は時間で集計している。
②大泉さくら運動公園多目的運動場は人工芝化工事のため27年7月1日から28年1月31日まで休場

〔体育館の利用状況〕

平成27年度

施設名 区分	総合 体育館	桜台 体育館	上石神井 体育館	平和台 体育館	大泉学園町 体育館	光が丘 体育館	中村南スポーツ 交流センター
	人	人	人	人	人	人	人
個人利用	41,346	9,233	50,604	45,322	47,700	41,817	37,424
登録団体利用	48,861	28,019	27,247	21,392	19,631	23,355	15,633
連盟・SSC	36,012	1,940	5,315	14,673	16,408	21,853	21,366
大会・事業等	17,339	4,780	4,108	2,199	5,499	19,054	1,441
自主事業	—	—	5,266	2,909	3,376	3,808	29,274
健康体力相談	—	—	—	—	—	74	—
トレーニング室	25,420	—	38,718	27,542	37,942	71,074	62,709
合計	168,978	43,972	131,258	114,037	130,556	181,035	167,847

※自主事業には会議室利用も含む。

※トレーニング室には説明会参加者を含む。

※光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

〔プールの利用状況〕

平成27年度

施設名 区分	上石神井体育館 温水プール	平和台体育館 温水プール	大泉学園町体育館 温水プール	光が丘体育館 温水プール	中村南スポーツ 交流センター 温水プール	三原台 温水プール	石神井プール
	人	人	人	人	人	人	人
個人利用	84,701	77,627	77,226	136,257	132,116	42,608	40,178
登録団体利用	9,899	3,789	10,192	11,733	6,306	6,817	—
連盟・SSC	2,933	5,704	13,535	3,474	12,591	1,854	—
大会・事業等	2,687	504	1,529	5,425	3,239	167	—
自主事業	1,810	3,446	75	1,341	7,498	821	—
障害者専用コース	966	678	1,189	1,241	1,115	297	—
合計	102,996	91,748	103,746	159,471	162,865	52,564	40,178

※三原台温水プールは施設改修のため平成27年9月24日から28年3月25日まで休場。

●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力のさらなる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、平成26年度から開催している。

第2回大会として「練馬こぶしハーフマラソン2016」を28年3月27日に開催した。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。



〔練馬こぶしハーフマラソン2016 ロゴ〕
練馬区の木である「こぶし」の花がデザインされている。

〔開催状況〕

項目名	第1回大会	第2回大会	増減
開催日	平成27年3月29日(日)	平成28年3月27日(日)	—
エントリー数	5,248人	5,240人	△8人
当日出走者数	4,674人	4,602人	△72人
完走者数	4,464人	4,478人	+14人
完走率	95.5%	97.3%	+1.8%

※オープン参加含む